

こうじ 工事の げんば 現場より



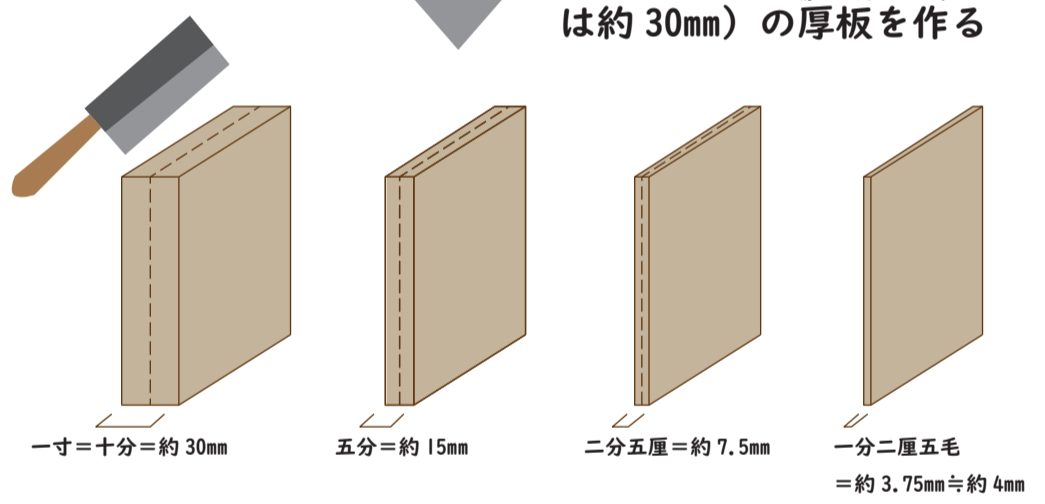
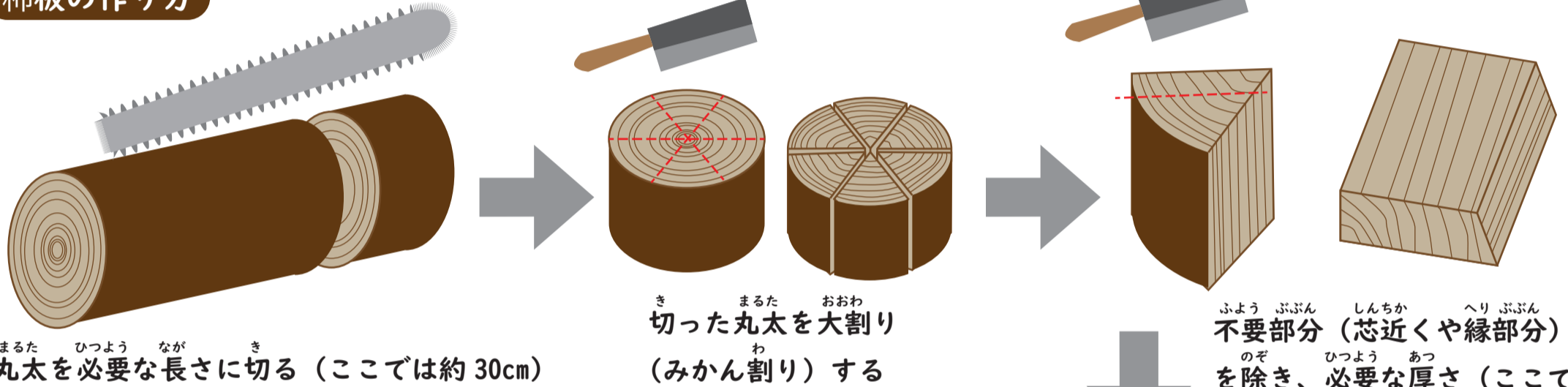
園の外でも工事作業を実施中！



園外篇①柿板

しゅうりこうじ たてもの げんば えいい すす
 修理工事は建物のある現場で鋭意進められていますが、三溪園の外でも工事のために様々な作業
 おこな ひと やね ふ ざいりょう じゅんび ひわだ ぶ やね こけらぶ やね ざいりょう ひわだ
 が行われています。その一つが屋根葺き材料の準備。檜皮葺き屋根・柿葺き屋根の材料である檜皮・
 こけらいた せいさく やね ふ さぎょう わり し い えん した ちからも しごと
 柿板の製作は、屋根葺き作業の7～8割を占めると言われる縁の下の力持ちの仕事です。
 こけらぶ やね もち こけらいた しまねけん やまおく こうじょう せいさく かんそう
 柿葺き屋根に用いられる柿板は、島根県の山奥の工場で製作されています。しっかり乾燥させて
 よこはま はこ こ ふ さぎょう つか あき よてい
 から横浜に運び込まれ、葺きの作業に使われるのは秋ごろの予定です。

こけらいた つく かた 柿板の作り方



あついた わ あつ どうぶん く かえ ひつよう
厚板をへぎ割って厚さを2等分することを繰り返し、必要な
あつ うす こけらいた つく だ
厚さ（ここでは約 4mm）の薄い柿板を作り出す。



いた かんそう てきぎ かおん じょしつ そうふう おこな
板を乾燥させるため、適宜加温や除湿、送風を行っている。



げんぼく しい しょう わり で
原木は仕入れても使用できないものが2割ほど出てしまう。
じゅうよう おう せいさん げんぼく おお
需要に応じて生産できるように原木は多めにストックしている